

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	国道163号 清滝生駒道路
事業主体	近畿地方整備局

事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	便益が費用を上回っている	全 体：費用便益比(B/C) = 1.1 (経済的純現在価値(B-C) = 195億円、経済的内部収益率(EIRR) = 4.3%) 残事業：費用便益比(B/C) = 2.0 (経済的純現在価値(B-C) = 361億円、経済的内部収益率(EIRR) = 8.9%)

事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは を に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間a (費用便益分析対象区間) について 渋滞損失時間 (現況) : 38499万人・時間/年 渋滞損失削減時間 : 171万人・時間/年 (63983万人・時間/年 - 63812万人・時間/年) 区間b (当該区間等) について：清滝生駒道路 一般国道163号 大阪生駒線 一般国道168号 第二阪奈道路 生駒市市道 並行区間等の渋滞損失時間：124万人・時間/年 並行区間等の渋滞損失削減率：4割削減
		現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	国道163号【大阪府域】、(旅行速度10.0~15.4km/h(下り) 改善見込み) 国道163号【奈良県域】、(旅行速度12.4~18.5km/h(上り)、6.9~18.3km/h(下り) 改善見込み)
		現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上かつ踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	四條畷市コミュニティバス(四條畷駅・忍ヶ丘駅 緑風台・さつきヶ丘公園系統) 奈良交通(ひかりが丘 白庭台駅・生駒駅系統、高の原駅 高山サイエンスタウン系統、祝園駅 学研奈良登美ヶ丘駅系統)
		新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	精華町～新大阪駅(所要時間:95分 82分)
		第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	精華町～関西国際空港(所要時間:113分 100分)
		物流効率化の支援	重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる
農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる			
現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する			

1. 活力	都市の再生	都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		中心市街地内で行う事業である	
		幹線都市計画道路網密度が1.5km/km ² 以下である市街地内での事業である	
		DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	
	国土・地域ネットワークの構築	高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけあり	
		地域高規格道路の位置づけあり	学研都市連絡道路
		当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
		当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
		現道等における交通不能区間を解消する	
		現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	
	個性ある地域の形成	鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	関西文化学術研究都市
		主要な観光地へのアクセス向上が期待される	平城宮跡(奈良市年間観光客入込客数：14,976千人(奈良市：H27年))
		特別立法に基づく事業である	
		新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
		歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である	

2.暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上全ての該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
	交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される		
	無電柱化による美しい町並みの形成	対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけあり	
3.安全	安全で安心できるくらしの確保	市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）等の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
	安全な生活環境の確保	現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
	災害への備え	当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
4.環境	地球環境の保全	近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
	生活環境の改善・保全	対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業5ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	大阪府地域防災計画（第一次緊急輸送路で広域緊急交通路の重点14路線の一路線） 奈良県地域防災計画（計画における位置付け：第一次緊急輸送路）
		緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	
		並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	防災対策箇所数 = 5 箇所(国道163号 四條畷市下田原2箇所、生駒市高山町2箇所、生駒市鹿畑町1箇所)
		現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
		避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
		幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
		密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす	
		対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量：229.71t-CO2/年
5.その他	他のプロジェクトとの関係	現道等における自動車からのNO2排出削減率	（推計結果） 評価対象区間（現道/並行区間等）：清滝生駒道路 一般国道163号 大阪生駒線 一般国道168号 第二阪奈道路 生駒市市道 排出削減量：4.51t/年、排出削減率：0割削減
		現道等における自動車からのSPM排出削減率	（推計結果） 評価対象区間（現道/並行区間等）：清滝生駒道路 一般国道163号 大阪生駒線 一般国道168号 第二阪奈道路 生駒市市道 排出削減量：0.42t/年、排出削減率：0割削減
		現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	国道163号 生駒市北田原町(騒音レベル：夜間71dB 改善見込み)、生駒市高山町(騒音レベル：夜間72dB 改善見込み)、生駒市鹿畑町(騒音レベル：夜間72dB 改善見込み)
		その他、環境や景観上の効果が期待される	
5.その他	他のプロジェクトとの関係	道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	「奈良県都市計画区域マスタープラン(H23.5)」、「相楽都市計画区域マスタープラン(H28.5)」、「京の道づくり重点プラン(H20)」に位置づけられています
		関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	
		他機関との連携プログラムに位置づけられている	けいはんな学研都市新たな都市創造に向けて - 新たな都市創造プラン -
		その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

(再評価)

様式-2

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道163号	清滝生駒道路・精華拡幅	L=15.6km	地高	BP・現道拡幅

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
18,200	4車線	近畿地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成29年度		
単純合計	1,235億円	235億円	1,470億円
うち残事業分	557億円	159億円	716億円
基準年における 現在価値 (C)	1,826億円	80億円	1,905億円
うち残事業分	456億円	54億円	510億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成29年度			
供用年	平成36年度			
単年便益 (初年便益)	124億円	9.3億円	2.5億円	136億円
基準年における 現在価値 (B)	1,996億円	156億円	40億円	2,192億円
うち残事業分	916億円	75億円	23億円	1,014億円

注) 「供用年」は、便益算定上の仮定の供用年である。

③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.2
経済的純現在価値（事業全体）	286億円
経済的内部収益率（事業全体）	4.4%
費用便益比（残事業）	2.0
経済的純現在価値（残事業）	504億円
経済的内部収益率（残事業）	8.9%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

【事業全体】

	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量 （全事業）	18,200台/日	±10%	0.9~1.4
事業費 （全事業）	557億円	±10%	1.1~1.2
事業期間 （全事業）	6年	±20%	1.1~1.2

【残事業】

	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量 （残事業）	18,200台/日	±10%	1.6~2.4
事業費 （残事業）	557億円	±10%	1.8~2.2
事業期間 （残事業）	6年	±20%	1.9~2.0

交通状況の変化

様式-3①

事業名：清滝生駒道路・精華拡幅（事業全体）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 (15.6km)	交通量 ^{※1}	[台/日]	13,000	18,200	
	走行時間 ^{※2}	[分]	57	29	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	168.75	104.62	
②主な周辺道路 ^{※4}	一般国道163号 (10.3km)	交通量	[台/日]	7,300	4,700
		走行時間	[分]	31	27
		走行時間費用	[億円/年]	39.51	22.46
	大阪生駒線・奈良生駒線 (23.7km)	交通量	[台/日]	18,200	15,700
		走行時間	[分]	56	52
		走行時間費用	[億円/年]	172.20	138.86
	一般国道168号 (8.5km)	交通量	[台/日]	8,200	7,300
		走行時間	[分]	23	22
		走行時間費用	[億円/年]	37.24	30.16
	第二阪奈道路 (13.4km)	交通量	[台/日]	20,900	19,000
		走行時間	[分]	14	14
		走行時間費用	[億円/年]	53.24	47.53
生駒市道 (17.2km)	交通量	[台/日]	8,500	7,000	
	走行時間	[分]	42	40	
	走行時間費用	[億円/年]	84.57	65.40	
③その他道路合計 (9,366.8km)	走行時間費用	[億円/年]	45,318.48	45,339.27	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：9,455.5km	走行時間短縮便益	[億円/年]	45,873.98	45,748.29	125.69

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。（上表は当該道路内の延長による加重平均値を記載）

※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化

様式-3①

事業名：清滝生駒道路・精華拡幅（残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし (A)	整備あり (B)	
①新設・改築道路 (12.0km)	交通量 ^{※1}	[台/日]	9,700	14,800	
	走行時間 ^{※2}	[分]	32	21	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	67.34	59.41	
②主な周辺道路 ^{※4}	一般国道163号 (10.3km)	交通量	[台/日]	7,500	4,700
		走行時間	[分]	31	27
		走行時間費用	[億円/年]	45.14	22.46
	大阪生駒線・奈良生駒線 (23.7km)	交通量	[台/日]	16,600	15,700
		走行時間	[分]	53	52
		走行時間費用	[億円/年]	150.43	138.86
	一般国道168号 (8.5km)	交通量	[台/日]	7,400	7,300
		走行時間	[分]	22	22
		走行時間費用	[億円/年]	29.91	30.16
	第二阪奈道路 (13.4km)	交通量	[台/日]	19,400	19,000
		走行時間	[分]	14	14
		走行時間費用	[億円/年]	48.67	47.53
生駒市道 (17.2km)	交通量	[台/日]	8,800	7,000	
	走行時間	[分]	43	40	
	走行時間費用	[億円/年]	90.33	65.40	
③その他道路合計 (9,370.4km)	走行時間費用	[億円/年]	45,373.98	45,384.48	

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：9,455.5km	走行時間短縮便益	[億円/年]	45,805.79	45,748.29	57.50

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。（上表は当該道路内の延長による加重平均値を記載）

※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名：清滝生駒道路・精華拡幅

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成29年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計 いずれかのみ推計の場合 いずれかのみ推計とした理由を記載	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサスベース)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ 考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載	()台トリップ/日
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の採択理由 小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他()	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	最終配分の速度	<input checked="" type="checkbox"/>
	採用理由を記載 分割回毎の極端な速度差が生じないBPR関数の適用に併せて、最終速度を採用。	
	その他()	<input type="checkbox"/>

交通流推計

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載		() %	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日	
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

費用の現在価値算定表(事業全体)

維持管理費の単価単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:一般国道163号 清滝生駒道路・精華拡幅

年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単価(億円)	延長(km)	単価(億円)	単純価値(億円)
				0.33	15.6	5.08	
-45年目	S 54	4.4388	92.4	0.45	2.22		
-44年目	S 55	4.2681	98.2	4.60	20.56		
-43年目	S 56	4.1039	100.7	6.90	28.92		
-42年目	S 57	3.9461	101.9	7.50	29.89		
-41年目	S 58	3.7943	102.9	12.80	48.56		
-40年目	S 59	3.6484	105.0	18.81	67.29		
-39年目	S 60	3.5081	105.7	23.74	81.04		
-38年目	S 61	3.3731	107.6	34.29	110.65		
-37年目	S 62	3.2434	107.3	19.90	61.87		
-36年目	S 63	3.1187	107.9	31.63	94.07		
-35年目	H 1	2.9987	110.8	29.67	82.67		
-34年目	H 2	2.8834	113.3	12.99	34.03		
-33年目	H 3	2.7725	116.0	12.04	29.62		
-32年目	H 4	2.6658	117.6	15.21	35.49		
-31年目	H 5	2.5633	117.9	16.92	37.85		
-30年目	H 6	2.4647	117.8	10.51	22.63		
-29年目	H 7	2.3699	117.1	19.26	40.11		
-28年目	H 8	2.2788	116.6	14.43	29.02		
-27年目	H 9	2.1911	117.5	12.39	23.77		
-26年目	H 10	2.1068	116.9	9.32	17.28		
-25年目	H 11	2.0258	115.2	14.96	27.07		
-24年目	H 12	1.9479	113.8	20.22	35.61		
-23年目	H 13	1.8730	112.4	12.97	22.24		
-22年目	H 14	1.8009	110.5	4.34	7.28		
-21年目	H 15	1.7317	109.0	23.47	38.37		
-20年目	H 16	1.6651	108.0	14.85	23.56		
-19年目	H 17	1.6010	106.7	11.15	17.22		
-18年目	H 18	1.5395	105.9	10.44	15.62		
-17年目	H 19	1.4802	105.0	11.01	15.97		
-16年目	H 20	1.4233	104.4	14.88	20.87		
-15年目	H 21	1.3686	103.0	15.44	21.11		
-14年目	H 22	1.3159	101.3	22.82	30.50		
-13年目	H 23	1.2653	99.8	21.77	28.40		
-12年目	H 24	1.2167	99.0	58.10	73.48		
-11年目	H 25	1.1699	99.0	27.43	33.36		
-10年目	H 26	1.1249	101.5	11.74	13.39		
-9年目	H 27	1.0816	102.9	9.77	10.57		
-8年目	H 28	1.0400	102.9	22.29	23.18		
-7年目	H 29	1.0000	102.9	36.60	36.60		
-6年目	H 30	0.9615	102.9	39.43	37.91		
-5年目	H 31	0.9246	102.9	43.28	40.02		
-4年目	H 32	0.8890	102.9	87.74	78.00		
-3年目	H 33	0.8548	102.9	110.49	94.44		
-2年目	H 34	0.8219	102.9	104.81	86.14		
-1年目	H 35	0.7903	102.9	171.21	135.31		
供用開始年次	H 36	0.7599	102.9			4.70	3.57
1年目	H 37	0.7307	102.9			4.70	3.44
2年目	H 38	0.7026	102.9			4.70	3.30
3年目	H 39	0.6756	102.9			4.70	3.18
4年目	H 40	0.6496	102.9			4.70	3.06
5年目	H 41	0.6246	102.9			4.70	2.94
6年目	H 42	0.6006	102.9			4.70	2.83
7年目	H 43	0.5775	102.9			4.70	2.72
8年目	H 44	0.5553	102.9			4.70	2.61
9年目	H 45	0.5339	102.9			4.70	2.51
10年目	H 46	0.5134	102.9			4.70	2.41
11年目	H 47	0.4936	102.9			4.70	2.32
12年目	H 48	0.4746	102.9			4.70	2.23
13年目	H 49	0.4564	102.9			4.70	2.15

14年目	H	50	0.4388	102.9			4.70	2.06
15年目	H	51	0.4220	102.9			4.70	1.98
16年目	H	52	0.4057	102.9			4.70	1.91
17年目	H	53	0.3901	102.9			4.70	1.83
18年目	H	54	0.3751	102.9			4.70	1.76
19年目	H	55	0.3607	102.9			4.70	1.70
20年目	H	56	0.3468	102.9			4.70	1.63
21年目	H	57	0.3335	102.9			4.70	1.57
22年目	H	58	0.3207	102.9			4.70	1.51
23年目	H	59	0.3083	102.9			4.70	1.45
24年目	H	60	0.2965	102.9			4.70	1.39
25年目	H	61	0.2851	102.9			4.70	1.34
26年目	H	62	0.2741	102.9			4.70	1.29
27年目	H	63	0.2636	102.9			4.70	1.24
28年目	H	64	0.2534	102.9			4.70	1.19
29年目	H	65	0.2437	102.9			4.70	1.15
30年目	H	66	0.2343	102.9			4.70	1.10
31年目	H	67	0.2253	102.9			4.70	1.06
32年目	H	68	0.2166	102.9			4.70	1.02
33年目	H	69	0.2083	102.9			4.70	0.98
34年目	H	70	0.2003	102.9			4.70	0.94
35年目	H	71	0.1926	102.9			4.70	0.91
36年目	H	72	0.1852	102.9			4.70	0.87
37年目	H	73	0.1780	102.9			4.70	0.84
38年目	H	74	0.1712	102.9			4.70	0.81
39年目	H	75	0.1646	102.9			4.70	0.77
40年目	H	76	0.1583	102.9			4.70	0.74
41年目	H	77	0.1522	102.9			4.70	0.72
42年目	H	78	0.1463	102.9			4.70	0.69
43年目	H	79	0.1407	102.9			4.70	0.66
44年目	H	80	0.1353	102.9			4.70	0.64
45年目	H	81	0.1301	102.9			4.70	0.61
46年目	H	82	0.1251	102.9			4.70	0.59
47年目	H	83	0.1203	102.9			4.70	0.57
48年目	H	84	0.1157	102.9			4.70	0.54
49年目	H	85	0.1112	102.9	-343.35	-38.18	4.70	0.52
合計					891.23	1825.58	235.19	79.85
単純事業費計						1234.58		235.19

- 注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)
- 注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表(残事業)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 一般国道163号 清滝生駒道路・精華拡幅

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.29	12	3.44

年次	年度	割引率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-6年目	H 30	0.9615	102.9	39.43	37.91		
-5年目	H 31	0.9246	102.9	43.28	40.02		
-4年目	H 32	0.8890	102.9	87.74	78.00		
-3年目	H 33	0.8548	102.9	110.49	94.44		
-2年目	H 34	0.8219	102.9	104.81	86.14		
-1年目	H 35	0.7903	102.9	171.21	135.31		
供用開始年次	H 36	0.7599	102.9			3.19	2.42
1年目	H 37	0.7307	102.9			3.19	2.33
2年目	H 38	0.7026	102.9			3.19	2.24
3年目	H 39	0.6756	102.9			3.19	2.15
4年目	H 40	0.6496	102.9			3.19	2.07
5年目	H 41	0.6246	102.9			3.19	1.99
6年目	H 42	0.6006	102.9			3.19	1.91
7年目	H 43	0.5775	102.9			3.19	1.84
8年目	H 44	0.5553	102.9			3.19	1.77
9年目	H 45	0.5339	102.9			3.19	1.70
10年目	H 46	0.5134	102.9			3.19	1.64
11年目	H 47	0.4936	102.9			3.19	1.57
12年目	H 48	0.4746	102.9			3.19	1.51
13年目	H 49	0.4564	102.9			3.19	1.45
14年目	H 50	0.4388	102.9			3.19	1.40
15年目	H 51	0.4220	102.9			3.19	1.34
16年目	H 52	0.4057	102.9			3.19	1.29
17年目	H 53	0.3901	102.9			3.19	1.24
18年目	H 54	0.3751	102.9			3.19	1.19
19年目	H 55	0.3607	102.9			3.19	1.15
20年目	H 56	0.3468	102.9			3.19	1.10
21年目	H 57	0.3335	102.9			3.19	1.06
22年目	H 58	0.3207	102.9			3.19	1.02
23年目	H 59	0.3083	102.9			3.19	0.98
24年目	H 60	0.2965	102.9			3.19	0.94
25年目	H 61	0.2851	102.9			3.19	0.91
26年目	H 62	0.2741	102.9			3.19	0.87
27年目	H 63	0.2636	102.9			3.19	0.84
28年目	H 64	0.2534	102.9			3.19	0.81
29年目	H 65	0.2437	102.9			3.19	0.78
30年目	H 66	0.2343	102.9			3.19	0.75
31年目	H 67	0.2253	102.9			3.19	0.72
32年目	H 68	0.2166	102.9			3.19	0.69
33年目	H 69	0.2083	102.9			3.19	0.66
34年目	H 70	0.2003	102.9			3.19	0.64
35年目	H 71	0.1926	102.9			3.19	0.61
36年目	H 72	0.1852	102.9			3.19	0.59
37年目	H 73	0.1780	102.9			3.19	0.57
38年目	H 74	0.1712	102.9			3.19	0.55
39年目	H 75	0.1646	102.9			3.19	0.52
40年目	H 76	0.1583	102.9			3.19	0.50
41年目	H 77	0.1522	102.9			3.19	0.48
42年目	H 78	0.1463	102.9			3.19	0.47
43年目	H 79	0.1407	102.9			3.19	0.45
44年目	H 80	0.1353	102.9			3.19	0.43
45年目	H 81	0.1301	102.9			3.19	0.41
46年目	H 82	0.1251	102.9			3.19	0.40
47年目	H 83	0.1203	102.9			3.19	0.38
48年目	H 84	0.1157	102.9			3.19	0.37
49年目	H 85	0.1112	102.9	-139.55	-15.52	3.19	0.35
合計				417.41	456.30	159.26	54.05
単純事業費計					556.96		159.26

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

(再評価)

様式-2

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
国道163号	清滝生駒道路	L=11km	地域高規格	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
20,100	4車線	近畿地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成29年度		
単純合計	1,024億円	186億円	1,209億円
うち残事業分	388億円	110億円	497億円
基準年における 現在価値 (C)	1,636億円	63億円	1,699億円
うち残事業分	318億円	37億円	355億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成29年度			
供用年	平成36年度			
単年便益 (初年便益)	108億円	7.6億円	1.7億円	117億円
基準年における 現在価値 (B)	1,737億円	129億円	27億円	1,893億円
うち残事業分	657億円	48億円	11億円	716億円

注) 「供用年」は、便益算定上の仮定の供用年である。

③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.1
経済的純現在価値（事業全体）	195億円
経済的内部収益率（事業全体）	4.3%
費用便益比（残事業）	2.0
経済的純現在価値（残事業）	361億円
経済的内部収益率（残事業）	8.9%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

【事業全体】

	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量 （全事業）	20,100台/日	±10%	0.9~1.4
事業費 （全事業）	388億円	±10%	1.1~1.1
事業期間 （全事業）	6年	±20%	1.1~1.2

【残事業】

	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量 （残事業）	20,100台/日	±10%	1.6~2.5
事業費 （残事業）	388億円	±10%	1.8~2.2
事業期間 （残事業）	6年	±20%	2.0~2.0

交通状況の変化

様式-3①

事業名：清滝生駒道路（事業全体）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 (11.0km)	交通量 ^{※1}	[台/日]	16,000	20,100	
	走行時間 ^{※2}	[分]	47	21	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	159.74	84.67	
②主な周辺道路 ^{※4}	一般国道163号 (9.0km)	交通量	[台/日]	8,000	4,800
		走行時間	[分]	28	25
		走行時間費用	[億円/年]	38.76	20.62
	大阪生駒線 (17.5km)	交通量	[台/日]	13,200	10,800
		走行時間	[分]	45	42
		走行時間費用	[億円/年]	107.85	82.52
	一般国道168号 (8.5km)	交通量	[台/日]	8,300	7,300
		走行時間	[分]	24	22
		走行時間費用	[億円/年]	37.63	30.16
	第二阪奈道路 (13.4km)	交通量	[台/日]	20,900	19,000
		走行時間	[分]	14	14
		走行時間費用	[億円/年]	53.39	47.53
生駒市市道 (5.1km)	交通量	[台/日]	9,100	5,800	
	走行時間	[分]	15	14	
	走行時間費用	[億円/年]	36.69	21.99	
③その他道路合計 (5,742.4km)	走行時間費用	[億円/年]	34,238.05	34,275.48	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：5,806.9km	走行時間短縮便益	[億円/年]	34,672.10	34,562.95	109.15

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。（上表は当該道路内の延長による加重平均値を記載）

※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化

様式-3①

事業名：清滝生駒道路（残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 (7.4km)	交通量 ^{※1}	[台/日]	11,900	15,500	
	走行時間 ^{※2}	[分]	22	13	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	56.09	39.46	
②主な周辺道路 ^{※4}	一般国道163号 (9.0km)	交通量	[台/日]	7,900	4,800
		走行時間	[分]	28	25
		走行時間費用	[億円/年]	43.02	20.62
	大阪生駒線 (17.5km)	交通量	[台/日]	11,300	10,800
		走行時間	[分]	42	42
		走行時間費用	[億円/年]	87.50	82.52
	一般国道168号 (8.5km)	交通量	[台/日]	7,400	7,300
		走行時間	[分]	22	22
		走行時間費用	[億円/年]	29.98	30.16
	第二阪奈道路 (13.4km)	交通量	[台/日]	19,400	19,000
		走行時間	[分]	14	14
		走行時間費用	[億円/年]	48.88	47.53
生駒市市道 (5.1km)	交通量	[台/日]	9,700	5,800	
	走行時間	[分]	16	14	
	走行時間費用	[億円/年]	42.46	21.99	
③その他道路合計 (5,746.0km)	走行時間費用	[億円/年]	34,295.99	34,320.69	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：5,806.9km	走行時間短縮便益	[億円/年]	34,603.91	34,562.95	40.96

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。（上表は当該道路内の延長による加重平均値を記載）

※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名：清滝生駒道路

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成29年	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)	
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサスベース)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他()	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 考慮した理由を記載	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
	その他()		
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)		
	その他(BPR関数と転換率式の併用による配分)	<input checked="" type="checkbox"/>	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
	最終配分の速度	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載	分割回毎の極端な速度差が生じないBPR関数の適用に併せて、 最終速度を採用。	
	その他()	<input type="checkbox"/>	

交通流推計

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %		
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日	
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

費用の現在価値算定表(事業全体)

維持管理費の単価単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 国道163号 清滝生駒道路

年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単価(億円)	延長(km)	単価(億円)	単純価値(億円)
				0.36	11		4.01
-45年目	S 54	4.4388	92.4	0.45	2.22		
-44年目	S 55	4.2681	98.2	4.60	20.56		
-43年目	S 56	4.1039	100.7	6.90	28.92		
-42年目	S 57	3.9461	101.9	7.50	29.89		
-41年目	S 58	3.7943	102.9	12.80	48.56		
-40年目	S 59	3.6484	105.0	18.81	67.29		
-39年目	S 60	3.5081	105.7	23.74	81.04		
-38年目	S 61	3.3731	107.6	34.29	110.65		
-37年目	S 62	3.2434	107.3	19.90	61.87		
-36年目	S 63	3.1187	107.9	31.63	94.07		
-35年目	H 1	2.9987	110.8	29.67	82.67		
-34年目	H 2	2.8834	113.3	12.83	33.61		
-33年目	H 3	2.7725	116.0	11.87	29.20		
-32年目	H 4	2.6658	117.6	15.09	35.21		
-31年目	H 5	2.5633	117.9	16.43	36.75		
-30年目	H 6	2.4647	117.8	10.02	21.57		
-29年目	H 7	2.3699	117.1	19.24	40.07		
-28年目	H 8	2.2788	116.6	14.11	28.38		
-27年目	H 9	2.1911	117.5	11.08	21.26		
-26年目	H 10	2.1068	116.9	9.29	17.23		
-25年目	H 11	2.0258	115.2	14.86	26.89		
-24年目	H 12	1.9479	113.8	20.06	35.33		
-23年目	H 13	1.8730	112.4	12.78	21.91		
-22年目	H 14	1.8009	110.5	4.24	7.11		
-21年目	H 15	1.7317	109.0	23.09	37.75		
-20年目	H 16	1.6651	108.0	14.52	23.04		
-19年目	H 17	1.6010	106.7	10.61	16.38		
-18年目	H 18	1.5395	105.9	9.68	14.48		
-17年目	H 19	1.4802	105.0	10.51	15.25		
-16年目	H 20	1.4233	104.4	14.05	19.71		
-15年目	H 21	1.3686	103.0	10.83	14.81		
-14年目	H 22	1.3159	101.3	22.55	30.14		
-13年目	H 23	1.2653	99.8	21.46	27.99		
-12年目	H 24	1.2167	99.0	50.87	64.34		
-11年目	H 25	1.1699	99.0	23.97	29.15		
-10年目	H 26	1.1249	101.5	8.93	10.18		
-9年目	H 27	1.0816	102.9	7.70	8.33		
-8年目	H 28	1.0400	102.9	14.85	15.44		
-7年目	H 29	1.0000	102.9	30.06	30.06		
-6年目	H 30	0.9615	102.9	29.86	28.71		
-5年目	H 31	0.9246	102.9	30.69	28.38		
-4年目	H 32	0.8890	102.9	67.33	59.85		
-3年目	H 33	0.8548	102.9	82.08	70.16		
-2年目	H 34	0.8219	102.9	71.27	58.57		
-1年目	H 35	0.7903	102.9	106.42	84.10		
供用開始年次	H 36	0.7599	102.9			3.71	2.82
1年目	H 37	0.7307	102.9			3.71	2.71
2年目	H 38	0.7026	102.9			3.71	2.61
3年目	H 39	0.6756	102.9			3.71	2.51
4年目	H 40	0.6496	102.9			3.71	2.41
5年目	H 41	0.6246	102.9			3.71	2.32
6年目	H 42	0.6006	102.9			3.71	2.23
7年目	H 43	0.5775	102.9			3.71	2.14
8年目	H 44	0.5553	102.9			3.71	2.06
9年目	H 45	0.5339	102.9			3.71	1.98
10年目	H 46	0.5134	102.9			3.71	1.91
11年目	H 47	0.4936	102.9			3.71	1.83
12年目	H 48	0.4746	102.9			3.71	1.76
13年目	H 49	0.4564	102.9			3.71	1.69

14年目	H	50	0.4388	102.9			3.71	1.63
15年目	H	51	0.4220	102.9			3.71	1.57
16年目	H	52	0.4057	102.9			3.71	1.51
17年目	H	53	0.3901	102.9			3.71	1.45
18年目	H	54	0.3751	102.9			3.71	1.39
19年目	H	55	0.3607	102.9			3.71	1.34
20年目	H	56	0.3468	102.9			3.71	1.29
21年目	H	57	0.3335	102.9			3.71	1.24
22年目	H	58	0.3207	102.9			3.71	1.19
23年目	H	59	0.3083	102.9			3.71	1.14
24年目	H	60	0.2965	102.9			3.71	1.10
25年目	H	61	0.2851	102.9			3.71	1.06
26年目	H	62	0.2741	102.9			3.71	1.02
27年目	H	63	0.2636	102.9			3.71	0.98
28年目	H	64	0.2534	102.9			3.71	0.94
29年目	H	65	0.2437	102.9			3.71	0.90
30年目	H	66	0.2343	102.9			3.71	0.87
31年目	H	67	0.2253	102.9			3.71	0.84
32年目	H	68	0.2166	102.9			3.71	0.80
33年目	H	69	0.2083	102.9			3.71	0.77
34年目	H	70	0.2003	102.9			3.71	0.74
35年目	H	71	0.1926	102.9			3.71	0.72
36年目	H	72	0.1852	102.9			3.71	0.69
37年目	H	73	0.1780	102.9			3.71	0.66
38年目	H	74	0.1712	102.9			3.71	0.64
39年目	H	75	0.1646	102.9			3.71	0.61
40年目	H	76	0.1583	102.9			3.71	0.59
41年目	H	77	0.1522	102.9			3.71	0.57
42年目	H	78	0.1463	102.9			3.71	0.54
43年目	H	79	0.1407	102.9			3.71	0.52
44年目	H	80	0.1353	102.9			3.71	0.50
45年目	H	81	0.1301	102.9			3.71	0.48
46年目	H	82	0.1251	102.9			3.71	0.46
47年目	H	83	0.1203	102.9			3.71	0.45
48年目	H	84	0.1157	102.9			3.71	0.43
49年目	H	85	0.1112	102.9	-300.16	-33.38	3.71	0.41
合計					723.36	1635.70	185.65	63.02
単純事業費計					1023.52		185.65	

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表(残事業)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 国道163号 清滝生駒道路

					単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
					0.32	7.4	2.37
年次	年度	割引率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-6年目	H 30	0.9615	102.9	29.86	28.71		
-5年目	H 31	0.9246	102.9	30.69	28.38		
-4年目	H 32	0.8890	102.9	67.33	59.85		
-3年目	H 33	0.8548	102.9	82.08	70.16		
-2年目	H 34	0.8219	102.9	71.27	58.57		
-1年目	H 35	0.7903	102.9	106.42	84.10		
供用開始年次	H 36	0.7599	102.9			2.19	1.67
1年目	H 37	0.7307	102.9			2.19	1.60
2年目	H 38	0.7026	102.9			2.19	1.54
3年目	H 39	0.6756	102.9			2.19	1.48
4年目	H 40	0.6496	102.9			2.19	1.43
5年目	H 41	0.6246	102.9			2.19	1.37
6年目	H 42	0.6006	102.9			2.19	1.32
7年目	H 43	0.5775	102.9			2.19	1.27
8年目	H 44	0.5553	102.9			2.19	1.22
9年目	H 45	0.5339	102.9			2.19	1.17
10年目	H 46	0.5134	102.9			2.19	1.13
11年目	H 47	0.4936	102.9			2.19	1.08
12年目	H 48	0.4746	102.9			2.19	1.04
13年目	H 49	0.4564	102.9			2.19	1.00
14年目	H 50	0.4388	102.9			2.19	0.96
15年目	H 51	0.4220	102.9			2.19	0.93
16年目	H 52	0.4057	102.9			2.19	0.89
17年目	H 53	0.3901	102.9			2.19	0.86
18年目	H 54	0.3751	102.9			2.19	0.82
19年目	H 55	0.3607	102.9			2.19	0.79
20年目	H 56	0.3468	102.9			2.19	0.76
21年目	H 57	0.3335	102.9			2.19	0.73
22年目	H 58	0.3207	102.9			2.19	0.70
23年目	H 59	0.3083	102.9			2.19	0.68
24年目	H 60	0.2965	102.9			2.19	0.65
25年目	H 61	0.2851	102.9			2.19	0.63
26年目	H 62	0.2741	102.9			2.19	0.60
27年目	H 63	0.2636	102.9			2.19	0.58
28年目	H 64	0.2534	102.9			2.19	0.56
29年目	H 65	0.2437	102.9			2.19	0.53
30年目	H 66	0.2343	102.9			2.19	0.51
31年目	H 67	0.2253	102.9			2.19	0.49
32年目	H 68	0.2166	102.9			2.19	0.48
33年目	H 69	0.2083	102.9			2.19	0.46
34年目	H 70	0.2003	102.9			2.19	0.44
35年目	H 71	0.1926	102.9			2.19	0.42
36年目	H 72	0.1852	102.9			2.19	0.41
37年目	H 73	0.1780	102.9			2.19	0.39
38年目	H 74	0.1712	102.9			2.19	0.38
39年目	H 75	0.1646	102.9			2.19	0.36
40年目	H 76	0.1583	102.9			2.19	0.35
41年目	H 77	0.1522	102.9			2.19	0.33
42年目	H 78	0.1463	102.9			2.19	0.32
43年目	H 79	0.1407	102.9			2.19	0.31
44年目	H 80	0.1353	102.9			2.19	0.30
45年目	H 81	0.1301	102.9			2.19	0.29
46年目	H 82	0.1251	102.9			2.19	0.27
47年目	H 83	0.1203	102.9			2.19	0.26
48年目	H 84	0.1157	102.9			2.19	0.25
49年目	H 85	0.1112	102.9	-106.81	-11.88	2.19	0.24
合計				280.83	317.89	109.72	37.25
単純事業費計					387.64		109.72

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

